

～笑顔とやさしさをつなげていく北方の子～



北方だより

横浜市中区諏訪町29

TEL 045-621-2966

<https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kitagata/>

「人権」について考え実践する

校長 伊藤 洋子

12月10日は「世界人権デー」です。1948年に開催された国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、「世界人権デー」として制定されたそうです。日本では、「世界人権デー」を最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、全国的に特に強化して人権啓発活動が行われています。そして、12月4日（月）から12月8日（金）までを、北方小学校の人権週間として設定し、人権啓発活動を行います。

本校では、学校教育目標「笑顔とやさしさをつなげていく北方の子」の実現に向けて、「知」「徳」「体」「公」「開」の視点で具体目標を設定し、「徳」の視点の目標は、「自他のよさを知り、共に大切にする思いやりの心を育てます。」という目標です。この目標を実現するための重点的な取組分野として人権教育を位置付け、日々の取組とともに、特に重点をかけた取組を人権週間に行います。

人権週間に先立って、12月1日（金）には、人権委員会の子どもたちの運営で、人権集会を開催します。集会では、各学級が選んだ「友達に言ってもらえると勇気が出る言葉」を発表します。子どもたちは、日々の生活の中での

経験を思い返し、「自分も友達も気持ちよく安心して過ごし、みんなが笑顔になるためにはどうしたらよいか。」を考え、互いを思いやる大切な言葉を選びました。集会では、各学級の代表が、選んだ言葉にどのような思いや願いを込めたのかを伝えます。

人権週間には、各学級で人権に関わる学習にも取り組みます。道徳科を中心とした学習の中で、自分のよさや友達のよさ、友達とのよりよい関わり、安心して生活する学級づくりなどについて学びます。

全校や学年・学級で、「人権」について考え、考えたことを共有して実践することを通して、人と人との温かいつながりをつくることや、自分も他の人も大切にするこのことの意味や価値にあらためて気付くことを期待しています。

12月4日（月）の朝会では、校長講話を予定しています。私が学級担任の頃から、人権週間を迎えると紹介する1冊の絵本があります。「笑顔とやさしさをつなげていく北方の子」に読み聞かせします。どのようなことを感じ、どのようなことを考えるのが楽しみです。

〈各学級の「友達に言ってもらえると勇気が出る言葉」〉

1-1 いっしょに～しよう がんばろう。	1-2 みんなでがんばるぞ！	1-3 つぎがんばろう！ もう1かい やってみよう！
2-1 あきらめずに がんばって。	2-2 一人じゃないよ きみなら できる！	2-3 あきらめないで いっしょにがんばろう！ あなたをおうえんします
3-1 みんながいれば、 だいじょうぶ。	3-2 いっしょに最後まで あきらめないで がんばろう	3-3 やればきっとできる
4-1 君はやればできる。	4-2 大丈夫 いっしょに がんばろう	4-3 きみならできる!!!
5-1 やればできる	5-2 がんばれ	
5-3 やればできる!!	6-1 がんばれ! ファイト! 君なら絶対できる!	
6-2 がんばって あなたならできる	6-3 ファイト!	